

## 令和4年度第1回船橋市公園を活用した健康づくり事業検討会議 会議録

日 時 令和4年7月5日(火) 10:00～11:30

場 所 船橋市保健福祉センター3階 保健学習室・歯科健診室

出席委員 多 胡 肇 NHKテレビ・ラジオ体操指導者  
渡 邊 千代美 船橋市スポーツ推進委員協議会  
櫻 井 俊 一 船橋市スポーツと健康を推進する会  
後 藤 順 子 総合型地域スポーツクラブ 薬田台みんなのクラブ 代表  
松 本 康 幸 社会福祉法人 船橋市社会福祉協議会 事務局長  
芝 原 正 行 公園緑地課長  
高 橋 伸 行 生涯スポーツ課長  
林 典 子 健康政策課長  
松 野 朝 之 保健所次長

欠席委員 文 川 和 雄 船橋市自治会連合協議会 副会長

市 職 員 公園緑地課 天田主査

事 務 局 地域保健課 廣島課長、高橋健康増進係長、森主任技師

次 第 1. 開会  
2. 委嘱状の交付  
3. 各団体・関係各課の紹介  
4. 座長・副座長の選出  
5. 議事  
議題  
(1) 令和3年度実績・アンケート結果に基づく評価  
(2) 令和4年度新規実施公園を拡大していくための検討・令和4年度の計画  
6. その他  
7. 閉会

傍 聴 者 なし

会議の公開・非公開の区分 公開

○事務局（地域保健課長）

それでは、定刻より少し早めでございますが、ただいまより令和4年度第1回船橋市公園を活用した健康づくり事業検討会議を開催いたします。皆様には、大変お忙しい中、また、大変お暑い中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

公園を活用した健康づくり事業検討会議は、市民が身近な公園で手軽にできる運動習慣を身につけ、自主的に健康づくりが推進されるために必要な事項を検討することを目的に設置されたものでございます。

初めに、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

まず初めに、次第、続きまして、船橋市公園を活用した健康づくり事業検討会議設置要綱、事業実施要綱、続きまして、「公園を活用した健康づくり事業にご参加の皆様へ」というチラシ、検討会議委員名簿、席次表。次に、資料1「公園を活用した健康づくり事業概要及び令和3年度実績」、資料2として、「令和3年度 会場別実施状況」、資料3「令和3年度公園を活用した健康づくり事業に関するアンケート」、次に、資料4-1として、咲が丘緑地公園のチラシ、4-2としまして、三山陽栄広場のチラシ、4-3として、二重川みんなの公園のチラシ、4-4といたしまして、藤崎台公園のチラシをおつけしております。次に、資料5、令和4年度実施会場の一覧、資料6「令和4年度の取り組みについて」、最後に、資料7、協力ボランティア団体募集のチラシでございます。以上でございますが、お手元がない方はいらっしゃいますでしょうか。おそろいでしょうか。

では、ここで事務局より、まず、ご報告を3点させていただきます。

1点目は、公園を活用した健康づくり事業実施要綱の改定についてでございます。配付資料の上から3枚目でございます「船橋市公園を活用した健康づくり事業実施要綱」をご覧ください。昨年度、令和3年度の定期の事務監査におきまして、実施要綱第6条の「請求を受理してから60日以内に支払うものとする」ということにつきまして、正しくは「15日以内に支払うものとする」と指摘を受けましたので、要綱を改定し、令和4年3月1日から施行いたしました。

報告の2点目でございますが、広報ふなばしに誤記載があったことのご報告でございます。広報ふなばし（4月15日号）に掲載しました事業の日程に記載の誤りがございまして、これは事務局の確認不足で、習志野台8丁目公園と緑台中央公園、行田公園の3会場の日程を誤って記載したものでございます。公園を活用した健康づくり事業のホームページにて、市民の皆様及び関係協力団体の皆様におわびするとともに、新しい日程を掲載いたしました。また、関係協力団体の代表者の方へおわびし、誤って掲載してしまいました日程、全8回でございますけれども、その都度、地域保健課の職員が会場に出向きまして、市民の方への対応をさせていただきました。以後十分に留意して、同様のミスがないように対応してまいりたいと思います。

報告の3点目でございますが、掲示物「公園を活用した健康づくり事業にご参加の皆様へ」の内容を一部変更したものでございます。配付資料の上から4枚目をご覧ください。この掲示物は公園の出入口等に掲示し、参加者が各自で確認して健康観察を行うものでございます。今年観測史上最速で梅雨明けもいたしまして、非常に暑い毎日が続いております。令和4年6月21日付で環境省及び厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた熱中症予防について」の通知がございまして、そこには「新型コロナウイルス感染症については、引き続き、基本的な感染対策を継続していただく必要がありますが、夏季の高温や多湿の環境下でのマスクの着用は熱中症のリスクを高める恐れがあることから、特に屋外での活動においては、マスクを外すことが求められているところ」と記載がありました。そのため、これまでは

掲示物に「マスクを着用している」と記載しておりましたが、近距離、おおむね2メートル以内の目安となりますが、「近距離で会話をする際はマスクを着用」という形に変更いたしましたので、ご報告いたします。

続きまして、次第2「委嘱状の交付」に移らせていただきます。

会議の開催の前に委嘱状の交付をさせていただきますが、本来であれば市長から直接交付させていただくところではございますが、他の公務で出席できないことと、新型コロナウイルス感染予防対策のため、直接の交付は控えさせていただくことにいたしました。各委員の皆様のお手元に置かせていただきましたので、ご確認をお願いできればと思います。なお、市職員におきましては、委嘱状の交付はございません。

次に、次第の3に移らせていただきます。

各委員の紹介となりますが、本日は船橋市自治会連合協議会の文川委員におかれましては、所用によりご欠席とのご連絡をいただいております。

それでは、お配りいたしました検討会議の名簿に従いまして、多胡委員より順にお名前とご所属のご紹介をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

#### ○多胡委員

おはようございます。NHKのテレビ体操・ラジオ体操を担当しております多胡肇と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○事務局（地域保健課長）

続きまして、渡邊委員、お願いいたします。

#### ○渡邊委員

船橋市スポーツ推進委員協議会の渡邊です。よろしくお願いいたします。

#### ○櫻井委員

船橋市スポーツと健康を推進する会の櫻井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○後藤委員

総合型地域スポーツクラブ 薬円台みんなのクラブの後藤です。よろしくお願いいたします。

#### ○松本委員

4月から船橋市社会福祉協議会の事務局長になりました松本と申します。よろしくお願いいたします。

#### ○事務局（地域保健課長）

よろしくお願いいたします。

続きまして、市の関係部署でございます。それでは、保健所次長の松野委員より、順次自己紹介をお願いいたします。

#### ○保健所次長

皆さん、おはようございます。保健所次長をしております松野です。どうぞ今年度もよろし

くお願いします。

○公園緑地課長

おはようございます。4月から公園緑地課長を務めています芝原と申します。よろしくお願いいたします。

○生涯スポーツ課長

おはようございます。船橋市教育委員会生涯スポーツ課長の高橋です。よろしくお願いいたします。

○健康政策課長

おはようございます。船橋市健康政策課の林と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（地域保健課長）

そのほか、公園緑地課から天田主査のご出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

○公園緑地課主査

よろしくお願いいたします。

○事務局（地域保健課長）

次に、事務局でございますが、順次自己紹介をさせていただきます。

地域保健課の課長をしております廣島と申します。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（地域保険課 健康増進係長）

地域保健課の健康増進係の係長をさせていただきます高橋です。この4月で異動になりましたので、よろしくお願いいたします。

○事務局（地域保健課 主任技師）

同じく健康増進係の森と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（地域保健課長）

今日は、オブザーバーとして合田という職員が同席しております。よろしくお願いいたします。

○事務局（地域保健課・主任技師）

よろしくお願いいたします。

○事務局（地域保健課長）

続きまして、次第の4に移らせていただきます。

座長・副座長の選出でございますが、座長の選出まで事務局にて進めさせていただくことで

よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局（地域保健課長）

それでは、公園を活用した健康づくり事業検討会議設置要綱第5条の規定に基づきまして、当会議の座長及び副座長は、委員の互選という形になっております。

それでは、どなたか座長へのご推薦をいただけたらと思っておりますけれども、どなたかご意見がありますでしょうか。

よろしくお祈いします。

○櫻井委員

スポ健の櫻井です。

毎回お祈いして申し訳ないですけれども、多胡先生に今回もまた議長をお祈いしていただけたらと思っておりますので、皆さんいかがでしょうか。推薦させていただきます。よろしくお祈いします。

○事務局（地域保健課長）

特に皆様ご異議ないでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり、拍手)

○事務局（地域保健課長）

ありがとうございます。異議なしということでございますので、多胡委員に座長をお祈いいたします。

それでは、座長が決まりましたので、ここで多胡委員に議事のほうはお任せしたいと思ひます。座長席のほうに多胡委員はお移りいただきますようにお祈いいたします。

(多胡委員、座長席に移動)

○多胡座長

座長を務めさせていただきます多胡と申します。本当にご無沙汰で、皆さんとこうして対面でお会いすることができました。皆さんお見受けするところ、お変わりない様子で安堵しております。また、コロナ禍で少し休止していたものもございすが、また新たな気持ちでスタートしたいと思います。今年度もよろしくお祈いいたします。

それでは、副座長の選出に移ります。副座長につきまして、どなたかご推薦ございすがよろしいでしょうか。

渡邊委員、お祈いします。

○渡邊委員

引き続き松野さんにお祈いしたいと思ひすがけれども、いかがでしょうか。よろしくお祈いいたします。

○多胡座長

では、副座長に松野委員というご推薦がありました。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○松野委員

分かりました。

○多胡座長

よろしくお願ひいたします。では、松野委員に副座長をお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○松野副座長

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。コロナの影響でかなり振り回されましたけれども、実は先週からちょっと増えて、今週からかなり増えているという状況で、ここ2か月間ちょっと心配だなとは思ひます。ただ、以前と違って、去年のちょうど今頃はデルタ株で、あのときは重症の方も多く出たのですが、今はオミクロンなので、そこまで行かないのかなと思ひています。

こんなに長引くとも思ひていなかったもので、いろんな事業、個人的にもそうですし、今日のアンケートにもありますが、皆さん外に出る機会が非常に少ないということで、やはりこのままというのは非常によろしくないと思ひます。ウイルスの種類にもよるのですけれども、そこを考慮しながら可能な限り通常どおりの生活になるべく近づけていくようなことで、公園の活動もそうですし、ほかの対策についてもそういうふうに進めていきたいと思ひます。どうぞ皆さん、いろいろアイデアを出しながら進めていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○多胡座長

ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

それでは、ただいまより、令和4年度第1回船橋市公園を活用した健康づくり事業検討会議を開会いたします。

まず、本検討会議の公開についてご説明いたします。本検討会議は、船橋市情報公開条例及び附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により公開とさせていただきましたので、ご了解くださいますようお願い申し上げます。

ここで傍聴人の入場となりますが、事務局、いかがでしょうか。

○事務局（地域保健課 健康増進係長）

本日の傍聴人はございません。

○多胡座長

ありがとうございます。

それでは、議題に入ります。お手元の次第に沿って進めてまいります。

まず、議題（１）「令和３年度実績・アンケート結果に基づく評価」について、事務局より報告をお願いいたします。

○事務局（地域保健課 主任技師）

事務局よりご報告いたします。

今回、検討会議に初めてご出席される委員もいらっしゃいますので、公園を活用した健康づくり事業の概要を初めにご説明します。

資料１をご覧ください。公園を活用した健康づくり事業は、市民が身近な公園で手軽にできる運動習慣を身につけ、自主的に健康づくりができるような仕組みづくりを目指すことを目的としています。平成２６年度に検討会議を立ち上げ、５回の会議の中でどのような健康づくりメニューを実施するか、どの公園をモデル公園とするか、どのように周知していくかなどの内容を検討しました。

１年間の検討内容を踏まえ、平成２７年度に市内３か所のモデル公園、薬田台公園、長津川親水公園、新高根５丁目公園で事業を開始しました。平成２７年度は、６月から３月までの１０か月間で３か所の公園、合わせて５２回開催し、延べ２，７９４人が参加、延べ４７５人の協力員が携わりました。

平成２８年度は実施会場が拡大し、市内１５か所の会場で４月から３月までの１２か月間で１，２１８回開催し、延べ４万４，００６人が参加、延べ６，５１９人の協力員が携わりました。

平成２９年度はさらに実施会場を拡大し、市内２９か所の会場で５，１３６回開催し、延べ１５万８，４８７人が参加、延べ２万３，０３５人の協力員が運営に携わりました。

平成３０年度は、市内３１か所の会場で６，０３９回開催し、延べ２０万２，７７８人が参加、延べ２万７，８９４人の協力員が運営に携わりました。

令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和２年３月から事業が中止となりましたが、令和元年４月から令和２年２月までの１１か月間、市内３８か所の会場で６，６４３回開催し、延べ２２万４，２５３人が参加、延べ３万４０９人の協力員が運営に携わりました。

令和２年３月に開催を予定していた協力員報告会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

令和２年度の実施会場は、当初３５か所でしたが、そのうち３か所が自主的に活動を休止したため、３２か所での実施となり、また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業実施期間が１１月と１２月の２か月でした。その２か月で３２会場で７７７回開催し、延べ２万４４５人が参加、延べ３，４２４人の協力員が運営に携わりました。

事業中止期間中の令和２年８月末から１０月初旬にかけては、協力員の皆様のお話に耳を傾け、不安の軽減を図ること、事業再開時にスムーズに運営していただけるように信頼関係を維持することを目的とし、事務局にて訪問及び電話で各協力団体の方の状況把握を行いました。

令和２年１１月から、「新型コロナウイルス感染症における感染拡大予防ガイドライン」並びに「公園を活用した健康づくり事業活動マニュアル」に基づき、感染予防対策を講じながら事業を実施していただくことになりましたが、三山陽栄広場、北習志野近隣公園、高根木戸近隣公園、天沼弁天池公園の４会場は、参加者名簿を作成して参加者を把握することはできるが、当日会場で検温を含む健康チェックをすることは難しいという理由で退会されました。天沼弁

天池公園は実施公園がなかった本町地区で初めての登録団体でしたけれども、令和2年4月にご登録いただいたものの、市の事業として一度も実施することなく令和2年11月に退会となりました。また、田喜野井公園は、協力員の方の高齢化及び担い手不足を理由に令和2年6月に退会されました。

事業の啓発イベント、協力員交流会、協力員報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

資料1の裏面をご覧ください。令和3年度の実施公園を拡大していくための取り組みとしては表のとおりです。コロナ禍で実際に地域に出向いて周知啓発活動を行うことが難しく、関係団体の協力を得て、協力ボランティア団体の募集チラシの配架や送付が主な活動となりました。令和3年度末の1月から3月にかけては、自治会連合協議会執行部会ですとか船橋市老人クラブ連合協議会に伺い、事業説明や協力ボランティア団体の募集呼びかけを行いました。さらに、令和2年度及び3年度に退会された協力団体代表者へご連絡し、近況を伺い、再度協力ボランティア団体として共に活動していただけるか意向確認をいたしました。後ほど、議題(2)「令和4年度新規実施公園を拡大していくための検討・令和4年度の計画」にて詳細をご説明いたしますが、このアプローチの結果、2団体が令和4年4月から再度公園事業に登録し、活動して下さることになりました。

次に、令和3年度の会場別実施状況についてご報告いたします。

資料2をご覧ください。令和3年度の実施会場は当初35か所でしたが、そのうち1公園、咲が丘緑地公園が協力員の高齢化及び担い手不足を理由に4月に退会し、34か所での実施となりました。また、9月の1か月間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業が中止となりました。11か月で5,359回開催し、延べ13万9,827人が参加、延べ2万2,944人の協力員が運営に携わりました。

また、令和3年度も2年度と同様に9月に予定していた協力員交流会、10月に予定していた事業の啓発イベント、3月に予定していた協力員報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

次に、令和4年3月に実施した令和3年度公園を活用した健康づくり事業に関するアンケート結果についてご報告いたします。

資料3をご覧ください。このアンケートは、令和3年度に、各公園での事業運営に携わっていただいた協力団体代表者様にご協力いただいて実施しました。34公園の全ての代表者から回答が得られました。回答者の性別は男性の割合が多く、年代は65歳から74歳が41%、75歳以上が53%であり、65歳以上が94%となっています。

住まいから公園までの距離については、徒歩10分未満が68%となっており、より身近な地域で協力員として携わってくださっていることが分かります。

協力員としてどのくらい活動しているかについては、公園を活用した健康づくり事業として実施する前からの活動年数を記載されていた方も含まれるため参考値とはなりますが、3年以上5年未満が最も多く44%、5年以上が38%となっており、82%が協力員として3年以上継続して活動していることが分かります。

回答者自身の新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と令和4年3月時点での身体面・精神面・社会生活等における変化については、「人と会う機会が減った」が27人と最も多く、「外出機会が減った」26人、「町会・自治会行事に参加する機会が減った」20人、「定期的に運動する機会が減った」12人、「足腰の衰えを感じる」11人となっています。事務局が実際に協力団体代表者様とお話しした際にも、「コロナで家を出る機会が減って、足の動きも悪くなっ



たし、腰が痛くなった」、「コロナ前のようにスムーズに動けるようになるには時間がかかりそうだ」などのお声が聞かれ、健康二次被害が見受けられました。

公園を活用した健康づくり事業以外に運動を行っているかについては、「はい」と回答した方が85%で、多くの方が事業以外でも運動を行っていることが分かります。

運動の内容としては、「ウォーキング・散歩・早歩き」が最も多く14人でした。ほかに「ゴルフ」、「太極拳・気功」、「グラウンドゴルフ」がそれぞれ4人でした。

さらに、事業以外に運動を行っているという回答した人のうち、「週2回以上」運動している人は41%と最も多く、続いて、「毎日」が24%でした。

事業以外に運動を行っているという回答した人のうち、1回当たりの運動時間が「120分以上」の人は29%で最も多く、続いて、「60分以上90分未満」が24%、「90分以上120分未満」が15%で、1回当たりの運動時間が60分以上と回答した人は68%で、運動が習慣化している人が多いと考えられます。

事業実施に当たり工夫していること、気をつけていること等があるかについては、「ある」と回答した方は85%でした。工夫していること、気をつけていることとしては、「気持ちよく参加していただけるように声かけをしている」、「参加者の体調や健康、安否確認」、「高齢の参加者が行き帰りにケガがないこと」、「高齢者が多いので無理な動きをせず楽しく行う、準備体操も行う」、「新型コロナウイルス感染予防」などの回答がありました。

参加者についての、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と令和4年3月時点での身体面・精神面・社会生活等においての変化については、「人と会う機会が減ったという声が聞かれるようになった」と「外出機会が減ったという声が聞かれるようになった」が29人と最も多く、「定期的に運動する機会が減ったという声が聞かれるようになった」が17人、「町会・自治会行事に参加する機会が減ったという声が聞かれるようになった」と「足腰の衰えを感じるようになったという声が聞かれるようになった」が16人でした。

協力員としてのやりがいを感じるタイミングについては、「朝の元気なあいさつ、元気ですかの声掛け」、「参加者の元気な姿・笑顔が見られること」、「参加者が楽しそうに参加しているとき、楽しかったと言われたとき」、「参加者が増えたとき」という意見が多くありました。また、「社会に役立っているような気分を感じたとき」などの回答もありました。

事業実施に当たり大変なこと・苦勞していること・課題については、「悪天候時の中止の判断」が14人と最も多く、続いて、「参加者がなかなか増えないこと」が12人、「コロナ禍での周知・啓発活動」が10人でした。ほかに、「新型コロナウイルス感染症の感染予防対策についてのアナウンス」などの回答もあり、コロナ禍ならではの苦勞も見受けられました。

令和3年度の実績報告、アンケート結果については以上になります。

#### ○多胡座長

ありがとうございました。

平成27年から始まりました公園を活用した健康づくり事業も8年目を迎えたということで、早いなというふうに感じております。事業の参加者も協力員の方も増員をしていたのですが、途中コロナ禍があったことで、ちょっとここで足踏みをした形になりますが、また改めて運動の重要性とか必要性を皆さん認識しておられることと思いますので、3年度の反省を生かしながら、いろいろと今後に結びつけていきたいと考えております。

では、委員の皆様から、令和3年度の公園事業について、評価、ご意見などございましたら、忌憚なくお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

事業がストップしていた中なので、いろいろとご苦労もあったかと思うのですが、渡邊委員、何かございますか。

○渡邊委員

この長い間の経過を見ていると、参加者も含め会場数も増えてはきているのですがけれども、コロナによってちょっと足踏みをしていたところがあったのかなと思いながら今お話を聞いていました。参加者については、ちょっと外出するところがなくなったけれども、でも運動をしていくということについては、すごくよかったというようなご意見がたくさんあったようですので、とてもうれしく思っています。

○多胡座長

ありがとうございます。

櫻井委員、協力員の方はこのコロナ禍で少しストップしてしまったことで、協力体制というか、皆さんはどんな感じでしょうか。

○櫻井委員

協力体制は、以前よりもコロナとかそういうものにすごく真剣にやるようになりまして、参加の皆さんに、向かい合った形の会話で気をつけるように言ったり、すごく感染防止には力を注いで、私たちの会では全体的にやっていただいたというふうに思います。

○多胡座長

それはありがたいことですね。逆に協力員の方が減ってしまったということはないですか。

○櫻井委員

協力員は逆に増えています。

○多胡座長

そうなんですね。それはすごい。

○櫻井委員

私たちは1公園のスタッフが割と多いのですが、大勢のスタッフの目で参加者の皆さんを見ていると、ちょっとした異常なども見つけやすいというか、分かりやすいところもあるし、それと、健康づくりというものにスタッフがすごく興味を持ちながら応援してくれていますので、助かっています。欠席をするという方はよほどじゃない限りは出ないです。それほど一生懸命、私自身も応援してもらっているという感じでやっています。

○多胡座長

本当にありがたいことです。個人的にはちょっと意外な感じがしたものですから、協力員の方もちょっと自重気味かなという気がしていたのですが、非常に頼もしい感じがします。

○櫻井委員

ですので、協力員自身がまず、例えばコロナ感染の最盛期のときはものすごく気をつけなが

らやって、それを皆さんに見ていただいて参加してもらおうと、そういう形でやっていますので、私のやることは何もないです。

○多胡座長

いえいえ、まとめていただいておりますので。いつもありがとうございます。

逆に、市民の方といますか、一般の参加者の方の反応は、後藤委員、いかがでしょうか。

○後藤委員

いつも櫻井さんに助けていただいております。人数的には最初の勢いというのはいないですけれども。

よく私もヘルパーをしながら思うのですが、80というか79の峠越えというのはとても大変だということを皆さん声に出されるんです。私はまだそこまで行かないので、「はい」と聞くだけですけれども、やはり始めた当時は27年だし、それで80を境に、80を超えた人が辞退しまししょうではないけれども、自粛しまししょうという方たちが見られて、人数的には少し減っていると思います。逆にコロナが落ち着いてきて、周知も皆さんに行き渡れば、また年代を変えて、同じ人がずっと来るのではなくて、年代層もありますからね。

そういう形でこの公園事業というのは本当に素晴らしいなと思っています。皆さんも本当に元気だし、意識も高い。「だけど寄る年波には勝てないときが来るのよ」とおっしゃいますけれども。

薬円台公園の場合は朝6時半からもうやっていますから、なかなか持続が、9時というのがいかない。途中でメンバーが全部入れ替わってしまうという状態なので、無理強いすることなく、皆さん自分のペースでやっていただけたらいいかなと思っています。

○多胡座長

大変な中をご継続いただいて本当に感謝しております。ありがとうございます。

社会福祉協議会の松本委員からしますと、多分事業がいろいろと中止になったことと思うのですけれども、皆さんの反応というのはどうでしょう。賛否両論あると思いますが。

○松本委員

そうですね。社会福祉協議会、地区社会福祉協議会でいろいろ事業をやる中で、昨年度はまん延防止などがあって、うちの事業を中止せざるを得ないという中で、こちらのアンケートにもありましたけれども、参加されていた方は、やはり外出しなくなったとか、会話がなくなったとか、地区のほうでボランティアをやっている方も、ボランティアができなくて外出ができなくなったとか、事業をやりたいのだけれどもコロナの関係があってできない、そういうジレンマの中でやってきました。

今、ようやくやれるようになってきましたが、先ほど副座長の方からもありましたように、最近また増えてきている。そういう状況を見ながら本当にどうしていいのか、この先を読むのもどう読んでいいのか、そういう中でずっとやってきましたので、それからするとこの3年度、参加者の方は減っていますけれども、これだけの方が参加されているのはすごいなというのが正直な感想です。

○多胡座長

そうですね。今また感染がちょっと増えている中で、先が見えないという中ですけれども、またいろいろとご尽力いただければと思います。

当初は公園緑地課で、遊具なんかも最初は全部使えないというような状況もありました。今はそういうこともなくなっちはいるのですが、何か市民の皆様からそういったご意見や要望は届くのでしょうか。

#### ○公園緑地課長

コロナが流行しはじめた時、ほかの市町村では遊具を中止といった新聞記事もありましたが、本市の公園においては、特に遊具の禁止等はしていませんでした。ただ、やはり距離を取っていただいて、マスクの着用を徹底していただくとともに、手洗いをしていただきたいということをお我々のほうでは周知しています。

利用者の皆様から、コロナ禍で屋内は難しいということで公園の利用というのはかなり見直され、公園にかなり人が集まってきました。ご高齢の方などは人が密になっていることに対して、公園に行きたいのだけれども逆に人がいっぱいいて行けないと、当初のご要望はそういう意見が特に多かったと思います。

今は、そういった声は徐々に少なくはなっていますが、やはりマスクの着用の仕方ですか、考え方が違う方がいらっしゃいますので、そういったことのご要望というのは受けます。今のところ大分落ち着いてきていますので、公園利用に関しては、大きなご要望というのは大分減ってきたかなという印象ではあります。

#### ○多胡座長

船橋市は公園の遊具は禁止にならなかったのですね。私、行田公園を使うものですから、あそこは県のあれだと思いますが、いっぱいテープが張り巡らされて使用禁止になったんです。非常に不便だなと思いました。なるほど、市ではそういうことはなかったということですね。ありがとうございます。

#### ○櫻井委員

公園遊具の件ですけれども、私たちのところで長津川と新高根、大神宮、あと坪井は私あまり目を通せないのですが、その3か所を毎回見ていると、コロナ禍になったときには、一人で来て公園遊具を利用して健康づくりをしているという方が増えていました。緩和されて今年度早々からは、公園の遊具を利用されている方はもっと多いです。特に長津川辺りは多いです。薬円台は土曜日とかにのぞいてみると、親子連れで子供さんを遊ばせたりしているのが多くて、結構公園の健康遊具は活用されていますね。

#### ○多胡座長

皆さん運動不足を認識されていると思うので、そういったものを使いながらということで。

#### ○櫻井委員

そういうふうに見えます。

#### ○多胡座長

なるほど。ありがとうございます。

生涯スポーツ課では何か企画とか、そういったものは今どんな状況になっているのでしょうか。

○生涯スポーツ課長

いろいろ今出ている中で、結局ずっとコロナで2年ぐらいスポーツ事業がほぼ停止の状況で、この春ぐらいから、ようやくいろんなスポーツ競技の市民大会などが始まりつつあります。新しく生涯スポーツ計画も第二次計画がスタートしました。こうした公園を活用した健康づくりというのは、本当に一人一人の市民の日常生活の中に根づいている部分だと思いますので、引き続きこういった部分については周知も含めて応援をしていきたい。去年の会議でも申し上げたのですが、やはり担い手不足の部分というのはスポーツ全般、市政のいろんな部分でもあるところ。また、どうしてもターゲットが子供は子供、成人は成人、高齢者は高齢者みたいに絞られて事業が展開されているかなという率直な印象があるので、こうした身近な公園でやる事業に子供からお年寄りまで、誰もが気軽に参加できる方法をちょっと検討していきたいなと思っています。

また、実際に事業が動き出すと、ほぼ月曜日の朝は苦情の電話という形で、土日の朝早く学校でいろんな事業をやられたり、公園もそうですがスポーツ広場でやられると、今まで2年間何もなかったのに、静かな土日を過ごされていた近隣の方たちが、朝早くから何をやっているんだというような苦情が結構多くなってきているというのが現状です。

○多胡座長

ありがとうございます。ラジオ体操もご迷惑をおかけしています。

○生涯スポーツ課長

あと一点、ちょっと聞きたかったのですが、うちの子供の年代になるとラジオ体操を知らない。なのはな体操というのを学校で習っていたので、「ラジオ体操に行く？」と言っても「ラジオ体操はよく分からないわ」と言うので、その辺りはどうなのかなというのを皆さんにお聞きしたかったのですが。

○多胡座長

なるほど。どうなのでしょう。我々の世代からすると、学校でラジオ体操をしたというか、させられたという認識があると思うのですがけれども、今は学習指導要領の中に「体操」という文字がなくなってしまって、「体ほぐし」、一時はストレッチを中心に学校でも指導されていたようですが、だんだんこれが戻りつつあるかなというのが一つです。

ただ、現場の先生方の話を聞くと、ラジオ体操というのは既存のものなので、要するに先生方は創意工夫をしながら子供の発育発達につながるような運動方法を自分で考えなさいというのが上からの指示なんですね。ですから、現場の先生はラジオ体操をやると逆に怒られるらしいです。ラジオ体操なんか誰でもできるのだから、もっとほかのものはないのかということもあって、全国でも市町村によって温度差があるのですが、全体的にいうと、やっぱりラジオ体操がこのコロナ禍で逆に注目を浴びて復活の兆しは出ているかなという気はしております。

皆さん何かありますか。

○櫻井委員

ラジオ体操の件ですけれども、うちのスタッフがNHKさんのラジオ体操の教室に通っている教育をしていただいて、きちんとしたやり方でやれるようになったんです。そうしたら参加の皆さんが、体操は嫌だという顔がなくなっちゃったんです。一生懸命やるようになった。今は暑いので、ラジオ体操も第2のきつめのところはちょっとお休みしたりしながらやっているのですが、きちんと説明をしながらやっていると、参加の皆さんもきちんとそれを自分の目や体で捉えてやってくださっているというのが見えます。ただやるのではなくて、ある程度基本に沿ったものを、きちんと皆さんに指導するというか一緒にやる。そういう形でやっていると、参加の皆さんは、「何だ、いい加減だ」という気持ちになりがちみたいです。そういうところに気をつけながらラジオ体操もやらせていただいております。

○多胡座長

ありがとうございます。  
どうぞ。

○渡邊委員

私たちは既存で体操をずっと、ラジオ体操は特に身につけてきているのですけれども、今の年代も含め、もう少し若い世代と一緒にラジオ体操をしましょうと言って、多胡先生にもよく講師で来ていただくのですが、「こんなに難しかったのかしら」「ちゃんとするとこんなに大変なのかしら」というような声が皆さんから聞こえてきたり、私も実感しているのですが、本当に一つ一つの部位を使っていくと難しいんです、このラジオ体操。いかにいい加減に私たちがそれを取って来たのかというのがあるので、きちんと覚えて体を動かす、身体をほぐしていく、それから、一つ一つの部位を使ってうまくやれるというところがラジオ体操の一番いいところかなと思っています。私もほかの体操も結構しているのですけれども、それぞれどれがいいから、どれがいけないからという考え方はしたくないんです。それぞれの体操のよさというのがあるので、それをうまく活用して、いろんな体操を自分の中に入れていくといいのかなと思っています。

○多胡座長

ありがとうございます。私もラジオ体操が全てではないということをいつも申し上げるのですけれども、子供たちが最近体操をする機会がないというのは、夏休みのラジオ体操もどうしても期間限定になっている部分があるのと、昔は子供会とかPTAとか、そういった方がしっかりと役員となってご尽力いただいていたのですが、私たちがそれをやってしまうと、「夏休みどこも行けないじゃないの」とか、いろいろなご意見があって、今は3日間とか5日間とか、地域によってはやっていないというところもあります。体の基本となるのはやっぱりラジオ体操かなという気もしておりますので、我々もラジオ体操のコンクールをしたり、学校に出向いて出前のラジオ体操をしたり、いろいろと活動はしているのですが、これからも着実に一歩一歩進めて、子供たちにも少し見直してもらえればというふうに考えております。すみません、ラジオ体操の話になってしまいましたが。

健康政策課からは、この3年度、4年度の中で何か変化はございましたか。

○健康政策課長

健康政策課のほうでは、特別に事業というのをたくさんやっているわけではございませんけ

れども、やはり自分たちの中で所管しているものも、この2年間というのは実際にコロナ禍で中止をせざるを得ない、あとは、場合によっては医療従事者の方とご協力してのイベントというようなものも持っていましたので、そういった意味では、やはりなかなか再開がしづらいところではあるというのが現状です。

事業の中の一つで健康ポイント事業というのが、公園を使って集団でお仲間と一緒にやる健康づくりとは別に、先ほどのアンケートでも出ていましたけれども、「それ以外の健康づくりをしているか」の中での、ウォーキングの部分が主になるかとは思いますが、そういったお一人でもできるものをとということで、前は高齢者の方が中心だったと言ってもよろしいかと思うのですが、最近は全世代にということで、ターゲットをもう少し若い層もということで、地域新聞的なところで取材を入れていただいたり、スマートフォンのアプリを使っても健康ポイントができるようになってきておりますので、そういったところで少しずつではありますけれども、若い世代の方にも興味を持っていただくというところでやっています。

あとは、事業を進めていく側からしますと、やはりここ2年間事業が開催できないということで、1年に1回の事業が多いので、そういったものを継承していく意味では、行政のほうは定期的に異動もございますので、今まで携わった者が本当に残り少ないような事業も出てきたりします。そういった苦勞といえますか、今後そういったところをどう埋めていくのかというのは、主催者側として少し危惧している部分もございます。その辺は課としても考えていかなければいけないところではないかと思っております。

#### ○多胡座長

ありがとうございます。そうなんです。中止にすることは簡単ですが、そのやり方を全然存じ上げない方がということで、本当に私もそこを危惧してまして、この後2年、3年たっただうなってしまうのかなど。新たなものが生まれるかも分からないですが、伝統的につながっていたものが途絶えてしまうと、ちょっと残念かなという気もします。

松野副座長、何かありますか。総合的に何か。

#### ○松野副座長

皆様のいろんな意見を聞きながら、また、先ほど事業報告にもありましたけれども、最初の令和2年度の結果を見たときに、かなり落ち込んだので、このままではどうなるのだろうかと思っておりましたが、令和3年に入って、また皆様のご尽力でどんどん増えてきている状況かなと思います。

先ほど事務局からもありましたように、一旦抜けられて、少し感染状況も落ち着いてきたので、また入って来られたところが2か所あるということは、非常にうれしいなと感じました。

また、私も非常に意外に思ったのが、先ほど櫻井委員のほうからの、協力員がむしろ増えているということ、これは一つの大きな希望かなと思っております。増えているということと、さらに皆さん健康に関心を持っていただけるところもありますので、今ちょっと大変な状況ではあるのですが、初めにも申しましたように、感染対策についても過度に心配することなく、でもポイントは押さえながら、これをやっておけば大丈夫ですよという情報をむしろ保健所のほうももっと積極的に出すような形にして、もっと進めていけたらなと思います。

先ほど芝原課長からもありましたけれども、コロナ禍で公園が非常に見直されているというお話ですので、中というよりは、公園も活用しながら、なおかつ、そこで高橋課長がおっしゃられましたように、子供からお年寄りまでできるような事業展開を考えたときに、やはりラジ

オ体操は外せないのかなと思います。私も学校で今ラジオ体操をほとんど教えていないというのを知らなかったので、ちょっとびっくりしましたがけれども、ラジオ体操をお子さんがある程度分かっているのであれば、本当に年代関係なくできるというのは非常に大きいと思いますので、そこもまた盛り上げていくことが大事なのかなと思います。

あとは、アンケートにもありましたけれども、担い手の問題というのは結構大きいと思いますので、新たな方をどう開拓していくのか、周知をどうしていくのかというところも課題になってくると思います。

また、アンケートの中で事務負担も大きいというところがありました。そこについては事務処理でも工夫されているところがあるようなので、そういう情報も積極的に出していきながら、負担はなるべく軽減しながら、人数を増やしていけるような展開方法ができたらいいなと思います。

#### ○多胡座長

ありがとうございます。

その他、ご意見のある方、あるいは令和3年度の内容の確認などございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

では、次に「令和4年度の新規実施公園の検討・令和4年度の計画」について、事務局より説明をお願いいたします。

#### ○事務局（地域保健課 健康増進係長）

事務局よりご説明いたします。

資料の4-1から4-4までをご覧ください。これは、今年度から事業を実施している会場のチラシになります。

令和3年11月に新型コロナウイルス感染症における感染拡大予防ガイドラインを一部変更し、令和2年11月のガイドラインよりも緩和された内容となりました。

ガイドラインの変更点は2点あり、1点目は、参加者名簿の取り扱いについてです。当初は、参加者名簿を作成し、参加者を把握することとしていましたが、公園の入り口等に「公園を活用した健康づくり事業にご参加の皆様へ」という掲示物を掲示し、その内容を各自確認して健康観察を行うことで、参加者名簿の提出を必須としないことになったことです。

2点目は、参加前に自宅での検温を必ず行い、現地における非接触型体温計での検温を必須としないことになったことです。

緩和された内容であれば対応できる団体もあるのではないかと考え、令和4年1月から3月にかけて、令和2年度及び3年度に退会された協力団体の代表者に連絡を取り、近況を伺いつつ、再度協力ボランティア団体として共に活動していただけないか意向確認を行いました。

連絡が取れたのは5団体で、この全ての団体が公園を活用した健康づくり事業を退会した後も自主的に公園で健康づくりメニューを継続していることが把握できました。そのうち2団体から、緩和されたガイドラインの内容であれば対応可能という返事がありました。令和4年4月から、公園を活用した健康づくり事業として活動していただけることになりました。その2団体は、資料4-1の咲が丘緑地公園と資料4-2の三山陽栄広場です。

咲が丘緑地公園は毎日6時30分からラジオ体操を行っており、三山陽栄広場は日曜日以外の毎日8時半からラジオ体操と、毎月第1・第3金曜日の8時50分から太極拳を行っています。



さらに、令和4年4月から5月にかけて2つの新規団体から問い合わせがあり、事業説明を行い、令和4年6月から公園を活用した健康づくり事業として活動していただけることになりました。その団体が資料4-3の二重川みんなの公園と資料4-4の藤崎台公園となります。

資料4-3の二重川みんなの公園は、会員制で毎週火曜日と金曜日にグラウンドゴルフを実施しており、グラウンドゴルフ実施前に8時45分からみんなの体操と練功を行っています。みんなの体操と練功はどなたでも参加が可能となっております。

資料4-4の藤崎台公園も会員制で、毎週土曜日と日曜日にウォーキングを実施しており、ウォーキング実施前に8時からラジオ体操を行っています。ラジオ体操にはどなたでも参加が可能です。

この2団体ともに、もともと公園を活用した健康づくり事業については把握していたが、自分たちの活動内容が市の事業に該当するか分からなかったため、今まで申し込みには至らなかった。グラウンドゴルフやウォーキング前の健康づくりの活動を通じてグラウンドゴルフやウォーキングの仲間も増やしていきたいと考え、今回詳しい話を聞いてみようと思ったと話されておりました。

次に、資料5は令和4年6月現在の実施会場一覧です。資料4-1から4-4でご説明いたしました4か所の会場が増え、合計38会場となりました。資料4-3の二重川みんなの公園や、資料4-4の藤崎台公園については、令和3年度中に事務局が行った周知啓発活動をきっかけに事業開始に結びついたわけではありませんが、自治会や民生委員の活動を通じて以前から公園を活用した健康づくり事業のことは知っていたとのことでした。そのため、今回の市の事業として実施につながりました。

チラシ配架や配布という活動は基本的なことではありますが、事業について知ってもらう、事業のことを目にする機会を増やしていくという観点では重要であると感じました。

次に、資料6「令和4年度の取り組みについて」、資料7、協力ボランティア団体募集のチラシをご覧ください。

年度毎の実施会場数を見ていただくと分かるように、新規公園の増加の伸び悩みが課題となっています。令和4年度新規実施公園をどう増やしていくかということについては、コロナ禍であり、各団体の会合等の実施状況によりますが、令和3年度に引き続き、関係団体へ出席させていただき、事業説明を行いたいと考えております。

また、令和3年度に公園緑地課にご協力いただき、公園使用許可申請をしている団体の中でラジオ体操や気功、太極拳などを実施している団体へ、資料7の協力ボランティア団体募集チラシの送付をしていただきましたが、令和4年度においても協力ボランティア団体募集チラシの送付及び窓口での配架等にご協力いただければと思っております。

さらに、船橋市民生委員児童委員協議会や社会福祉協議会、公民館、市内体育施設等にボランティア団体募集チラシを配布及び配架していただけるように依頼していきたいと考えております。

また、これまでに公園を活用した健康づくり事業について事務局へ問い合わせして下さった方や団体に、改めて連絡を取ったり、事業未実施の地区コミュニティ、法典地区、松が丘地区、本町地区に出向いていきたいと考えております。

事務局だけでは把握し切れない地域のつながりや情報を参考にしながら、引き続き事業の周知を行い、実施公園を拡充していきたいと考えておりますので、皆様にご意見を伺えますと幸いです。

また、新規公園拡充に向けた事業の周知啓発を行ってだけでなく、同時に現状の公園数

を維持していくことも求められていると感じております。

新型コロナウイルス感染症の動向及び船橋市新型コロナウイルス感染症対策本部の方針を踏まえた上での実施になりますが、令和2年度から実施できていない協力員交流会を、8月から9月にかけて市内3か所の保健センターにて実施することを企画していきます。そこでは、令和3年度の実績報告や各会場での取り組みについての情報共有や、ほかの公園の状況把握のため情報交換を行います。令和元年度に実施した協力員交流会のアンケートの中で、ほかの公園で実施している体操等の実践や、栄養士、保健師等の講話を取り入れてほしいという希望もありましたので、協力員の方々に楽しんでいただきつつ、今後の活動につながるような内容を検討していきたいと考えております。

さらに、11月のふなばし健康まつりではパネル展示を行い、事業周知を図る予定です。3月には各会場の協力員代表者を対象に協力員報告会を開催し、各会場での取り組みや運営の情報交換を行いたいと考えております。

今年度は、このような計画で事業を推進していきます。

事務局からは以上になります。

#### ○多胡座長

ありがとうございます。

今のご説明の中に、新規公園の伸び悩みという話もあったのですが、裏を返すと、この長引くコロナ禍で会場数が思ったよりも減っていない。これはすごいことだなと個人的には思っています。既存の会場を長く続けていただくためにも、こちらとしてもそういった方々のフォローをしていくのも一つかなという気がしております。当然ながら新しい公園、会場をつくるのが目的ではあるのですが、今までやっていただいているところに改めて感謝しながら、何かフォローができることがあればなど、ちょっと思っております。

では、皆様方から、この4年度の新規実施公園の検討及び4年度の計画について、何かご質問、ご意見等、ございますでしょうか。

渡邊委員、どうぞ。

#### ○渡邊委員

今、新規に入ってきたところ等を見ますと、何かとコラボしてやるとうまくいく。体操だけとか気功だけではなくて、何かその前にやるとか、後ろにやるとか、そのようなことでやると少し皆さんに違った意味の楽しさを味わっていただけるのかなと思いました。

これから講話等を入れていきたいというお話もありましたので、たとえ10分でも15分でもいいですので、何かお話をに入れていくとか、そこに来ている人たち同士のお話し合いでもいいですので、そういうものとうまくコラボできたら、もっと楽しい健康づくりにつながっていくのではないかなと、今予定を聞きながら思っていました。

それと、私も毎日やっている体操の高齢者のグループに声をかけて、一旦断られたのですが、その理由というのが、すごく面倒くさいと。いろいろ手続とか、公園へ来なくてはいけないとか、そういうのが面倒くさいから、せつかく毎日毎日高齢者を集めてやっているところだけでも、そういう手続の簡素化とか、あるいは、もっといいことがあれば入会してもいいけれども、とにかく高齢者は面倒くさいよという意見があって、そこがボツになったというようなことでした。少し緩和をしながらいくというようなお話もありましたので、ぜひそれを4年度に向けてやっていただければありがたいなと思っています。

○多胡座長

ありがとうございます。おっしゃるとおりかなと思いますね。こうしなければならない、これやってくれないと駄目ですということになると、ちょっとハードルが上がってしまうと思うので、それを下げられる範囲で下げつつ、あとは、これは若い方も含めてそうなのですが、若い方は当然健康にも不安がないし、体力にも自信があるので、「体操なんて」とか「公園に行って健康づくりなんて」というふうに思われる方はやっぱり多いのですが、そこら辺を今、渡邊委員がお話ししていたように、ちょっと講話を交えて意識改革を進めていくことがすごく大事だと思いますね。何のためにこういったことをやるのかということを変更して認識していただく。それが長い話になるとまた面倒くさいとなってしまうので、端的にそういったことを、ステップを踏んで、まずは簡単な運動から入って、こういった運動をやるとうような効果がありますよというところからでいいのかなという気はするので、4年度は少しずつ、一歩ずつ、半歩ずつ前へ進んでいければいいのかなと思います。

ほかに皆さん何かございますか。

○櫻井委員

今、多胡先生がおっしゃったように、体操だけではなくて、スタッフが体操をしながら、「ここを動かすと、こうなってこうだよ」とか、「こっちは逆にやってしまうと、そっちに無理がかかるからどうだよ」とか、そういう語りをやりながらうちのスタッフはやってくれるんです。そのために、参加している方は自分が納得して、それをまたよそのほうへ声かけをしてくださったり、そういう感じで、ただ「ほれ、体操だ」というだけではなくて、やっぱり組み合わせをしながらやっていただくといいのかなと。

もう一つは、この公園を活用した健康づくり事業とリハビリ体操は、船橋市が「健康寿命日本一」を目指してやるということから始まっているわけですね。そういう声かけも話題の中にちょこちょこ入れながらやると、お年寄りの方というか、私も年寄りですけども、何となく柔らかい形になって、「じゃあ、また誘ってみますよ」となるわけです。そういうやり方がこれからやろうというスタッフにも分かって、「じゃあ、やってみようかな」というグループが出てくるといいのかなと、そういう感じだと思います。

「健康寿命日本一」の健康寿命って、今7年目、今度8年目ですか。その中で、まだ統計的には早いんですけども、何歳延びたとか、そういうデータを出したりするといいのかなという気もします。そうすると地域の皆さんも結構張り切ってやれるような感じがしないでもないですね。そういうPRも大事なのかなと思います。

○多胡座長

ありがとうございます。そうですね、年度は8年目に入りますけれども、参加人員の推移を見ると、携わっているみんなもこれだけ増えているのだったら、もっと頑張らなくちゃとも思えるかなという気はしますので、これからもいろいろとご協力いただければと思います。

持ち前の明るさとパワー、そして求心力をお持ちの後藤委員は、何かそういった部分でお知恵はないですか。

○後藤委員

このスタッフのアンケートでも、本当にお天気が一番気になるんです。どの時点で中止を出

そうかと。いつも櫻井さんが連絡をしてくださるのですが、雨が降っていても、傘を差してでも来るうちのグループなので、「今日は9時からないですよ」とか言って、その日も中止だったんですが、来る人に申し訳ないと思って私も待機していました。そうしたらやっぱり20人超えまして、ただで帰ってもらうのも何だなと思って、にわか指導士をやっちゃいましたら、それが面白かったみたいで、ちゃんとした指導ではないのですが、たまにはそういう違う変なものがあっても皆さん楽しいのか、「ありがとうございました」と言って帰られました。私はただ好きにストレッチをただけだったんですが、そういうのも一つありかなと。違うジャンルのものが入ってきたりすると、来た人たちも刺激を受けますよね、「今日は何の体操だったんですか」みたいに。「体を使っただけですよ」で終わったんですけれども、そういうのもありかなという気もしました。だから、雨が降ったら、とにかく幕はないし終わりというものもないから、来たら来たで今度は皆さんが自主的にやる。指導者がいなくても何かをやるような気がする薬円台公園だと私は思っています。

#### ○多胡座長

それは後藤委員の力ですよ。その求心力を学びたいですよ。毎回思いますけれども。後藤さんのところに絶対人が集まってくるからね。これからいろいろと交代して頑張っただけだと思います。

#### ○櫻井委員

そういう報告を薬円台のほうから私いただきました。私がぎりぎり中止しますよと、ただしスタッフは何名か現地に控えることになっているので、その中で私が行かないから放送設備が何もないんですよ。そうしたら後藤さんが放送設備になってくれたんですよ。それで、みんなにぎやかに楽しんで、20人ぐらいで集まってやってくださった。それは感謝しているんです。後藤さんならではのやり方で、ある程度楽しみながらやる。スタッフもあまり難しく考えてしまうとできなくなってしまいうんですよ。

だから、役所へいろんな書面を出すのも、各公園の責任者でば一とやったりすると、負担になってしまうんですよ。たまたまうちは会としてやっているもので、その会の〇〇の担当の人が各公園から報告はいただく。それを取りまとめて地域保健課のほうへ届けたりすると、スタッフの煩わしさも大分省けるんですよ。それで結構続いているというか、協力してもらっている点もあります。

#### ○多胡座長

なるほど。関係各課も何か困り事とかありましたら、後藤委員に全部お願いできればと思います。

松野さん、何かありますか。

#### ○松野副座長

先ほどからもありましたが、僕は新たに入った2か所というのが本当にヒントになるかなと思いました。話は聞いていたけれども、自分たちの活動が当てはまるのか分からなかったというところがあったので、もしかしたらそういう団体さんって、ほかにもあるのではないかなと思いました。会員でされているようなところでも、ちょっと始まる前に地域の人のために開放してやっていって、それから後の時間を自分たちのものにとるところがあれば、そういうと

ころを開拓していくというのも一つかなと思います。こちらとしては新たに開拓できますし、そのグループの方にとっても新たなメンバーを探す一つのきっかけにもなるのかなと思います。もちろん地域の方にとってはいろいろ機会が増えるということもあるので、先ほどのコラボ、新たなことを入れたり、ちょっと前に新たな取り組みを入れていただいたりというのは、すごくいいかなと思います。

一つは、より広い方を対象にした広報と、もう一つは、既に活動を何かやっていて、その人たちが見て、もしかしたら自分たちもちょっと始まる前にプラスでやったら当てはまるんじゃないのと思っていただけるような広報活動というの、併せてやるというかなと思いました。あとはそれをどこで行うかですけれども、そのときに公園緑地課さんのお力を貸していただけたらと思います。既に取り組んでいるところにそういう情報を発信できたらと思います。

公園緑地課さんに質問ですけれども、一つの公園で、例えば複数の団体さんが曜日を変えて活動している公園というのは比較的あるのですか。同じ公園を使っている方が同じ公園仲間同士で情報交換というのも一つありなのかなと思ったので、お伺いしたいのですが。

#### ○公園緑地課長

ラジオ体操は把握し切れていないのですけれども、例えばグラウンドゴルフとかですと、同じ公園で火木はどこどこ、月水はどこどこみたいな形で、それぞれ地区のチームが分かれていらっしゃると思うので、そういう使い方をされている公園というのはかなり数多くあると思います。

#### ○松野副座長

そういう公園で既に公園事業をされている団体さんもあるのであれば、ほかの曜日で活動されているところにもそういう情報を流して、また新たなメンバーの開拓をしたりということで、そこをつなぐことも一つ広報活動としてはあるのかなとは思いますが。

あとは、先ほどの事務の簡略化というのはとても大事かなと思うのですが、先ほど高齢者が面倒でなかなか手が挙がらないというお話もありましたので、どの辺りで一番面倒くささを感じているのか、どうしたらあまり面倒くさくなくできるかという方法を、さらに考えていけたらいいかなと思います。

#### ○多胡座長

そうですね。

#### ○渡邊委員

体操を毎日やっているというので、「じゃあ、どう？」と声をかけたら、「あ、いいね」と乗ったんですよ。それで保健所に来て説明を聞いたら、「ああ、もう嫌だ」となっちゃった。そのときはちょっと苦労したんですが、説明を聞いたら、「ああ、もう面倒くさいからやりたくない」となったらいいです。ちょっと離れたところだったので、今でも毎日続けているようだけれども、もったいないなと思いつつながら、いろんなものを用意もできるだろうし、少し補助金を使ってそろえるものもそろえられるからというお話を私がしたんですが、何かいろいろ説明されたら、「ああ、もう駄目だ」みたいに思ってしまった。ほかの人たちはみんな「いいのにね」と言うんだけど、代表者の方が全部自分に責任がかかってくるんじゃないかと感じたらしいですね。そのようなことがあったので。

○松野副座長

申請とかですかね。それとも責任がかかるというところが大きかったですかね。

○渡邊委員

だと思いますね。やっぱり責任感が強いと、そうだと思います。

○多胡座長

負担が増えるし、それは一言で言えば皆さん面倒なんですよね。そこら辺がもう少し緩和できるといいとは思いますがね。

本当は隠れラジオ体操ファンという方がたくさんいらして、ご自宅でラジオ体操やテレビ体操をやられている方って本当に多いんですよ。このコロナ禍でますます増えてはいますが、そういう方たちが外で新鮮な空気を吸って、仲間と集って、コミュニケーションも図れてという、そのよさをもう少し伝えられればなと思いますし、開拓の余地はかなりあると思います。既存でまだ加わっていない方々も、こうやってグラウンドゴルフをされている方もたくさんいらっしゃるわけで、そういった方にもう少し緩和策を提示して、メリットを前面に掲げて、こういったいいことがありますよということをうたっていけるといいかなと思います。

何か皆さん、それ以外にご意見等ございますでしょうか。

○生涯スポーツ課長

今の渡邊委員のお話は、ぜひご自身のところのスポーツ推進委員が間に入ってその事務手続をやっていただくと、スポーツ推進事業としても成り立ちますし、公園を生かした事業としても成り立つので、そういう部分でのスポーツ推進委員の新たな活動というのは、世話役とか、事業部隊と営業部隊ではないですけども、そういうふうに区分けしてあげるといいのかなと。スポーツ推進委員自体は市の委嘱でなっていますので、それを一つ地域の活動の。

○渡邊委員

そういう手もありますよね。自分たちはそこに参加しないけれども、そういういろんな難しいところを担うと。

○生涯スポーツ課長

見守っているよ、手続はやってあげるよというのも、一つありなのかなという気はしました。

○多胡座長

なるほど。ナイスアイデアですね。

○生涯スポーツ課長

各ブロックに市内で200人いるので、どこかしら近くにあるでしょうし、スポーツ推進委員ではなくても、スポ健さんでも多分その辺りは担っていただけると。

○櫻井委員

スポ健はそんな感じでやっております。

○生涯スポーツ課長

その辺は多分受け側の廣島課長のほうが、それでもと言っていたら多分可能かなという気はするので。

○多胡座長

なるほどですね。

○生涯スポーツ課長

それと、隠れラジオ体操ファン、うちの母親も座りながらテレビ体操をやっていますけど、ちょっと思ったのは、スポーツの分野では目標となる大会とか競技会みたいなものがあると、日々の活動のメリハリがつくのかなと思って、これは実現可能かどうか分からないですけども、船橋市ラジオ体操選手権みたいなものを、それこそアリーナのサブアリーナとかを使ってやればどうかと。1年に1回その会場に集めて、多胡先生に見ていただいて、金メダル、銀メダルじゃないですけど、そういうのでやると、こんなにいろんな人がやっているんだなというところの周知にもなるのかなと思いました。アリーナの会場費ぐらいであれば多分市で予算を取ればいい話なので、そういうのは可能なのかなとちょっと感じました。

○多胡座長

そうですね。周年に合わせてが一番いいとは思いますが、ラジオの巡回放送をまた招聘したりとか、そういったことでもう一度市を挙げて、ラジオ体操が全てではないのですが、ちょっと足がかりとなるのであれば、そういったこともいろいろとアイデアを出していただければと思います。

○生涯スポーツ課長

一言加えさせていただくと、実は来年度が、船橋がスポーツ健康都市を宣言して40周年になるんですね。なので、そういう一つ機会としては何かあるとありがたいかなと。

○多胡座長

今もう募集が始まっています。来年度。

○渡邊委員

それに関してですけれども、何年か前に3,000人集めてラジオ体操を運動公園でやったことがあるんですね。それでNHKの方たちに来ていただいて、これを継続したいなというのが私たちスポーツの団体のほうではあったんですけども、お金もかかる、NHKのほうとしては毎年はできない。多胡先生ともその後いろいろ相談したりしていたのですが、3年ぐらい前に一回やってもらえませんかと私のほうから声をかけたことがありました。みんなを集めて。コロナの前です。だけど、そのときは全国的な場所が決まっていたんです。船橋は次の次ぐらいになってしまっていて、だから今高橋課長のほうからそういうお話があれば、また2~3年後でも。何年か先まで決まっているのでしょうか。

○多胡座長

そんなことはないですけども、裏事情を話すと、周年が強いんです。市制施行何十周年とか、そういったところが強いです。ですから、それを冠にしていただけるといいと思います。かんぼ生命さんのほうで募集を今もうホームページで多分開始していると思いますし、そういったところで何だったら名前を出していただければ。私のほうからはなかなか言えないですけども。

○渡邊委員

それは課長の力で。

○生涯スポーツ課長

市とか教育委員会は後ろで奔走するのは全然構わないので、あまり市からやりましょうというよりも、こういう会議で出てきたのでスポーツ推進委員協議会さんとかスポーツ協会さんがぜひみたいな感じのほうが、絵姿としてはいいのかなという気はします。裏方はいくらでも私たちがやりますので、お願いしたいと思います。

○多胡座長

ぜひぜひ。

ほかはご意見ございますでしょうか。大丈夫ですか。

では、そろそろお時間になりますのでまとめに入りたいと思いますが、実施会場は38か所と停滞傾向にあります、それぞれの地区で徒歩圏内に気軽に参加できる会場が増えるよう、今後も取り組みを進めていきたいと思っております。今後も各団体、関係各課におかれましては、周知や新規実施公園の立ち上げにご協力いただければと思っております。

では、令和4年度第1回船橋市公園を活用した健康づくり事業検討会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

議事は終了となりますので、進行を事務局にお返しします。

○事務局（地域保健課長）

各委員の皆様方、本当に貴重なご意見を頂戴いたしましてありがとうございました。また、多胡委員と松野委員、進行をありがとうございました。

最後になりますが、事務局のほうからご連絡が2点ございます。

まず、1点目でございますが、今日の検討会議の内容につきまして、議事録のご確認をお願いすることになります。委員の皆様には今後、お電話や郵送等でご報告をさせていただきご確認をお願いすることになるかと思っておりますので、ご多忙とは思いますがよろしくお願いたします。

もう1点、次回の検討会議でございますが、次回は来年度、令和5年の7月上旬頃の開催を予定しております。詳細につきましては、後日改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、これをもちまして令和4年度第1回船橋市公園を活用した健康づくり事業検討会議を閉会いたします。本日は皆様ありがとうございました。